

令和3年度 生田高等学校 年間指導計画

教科・科目	芸術・美術Ⅰ	学年	1	教科書	「日本文教出版」高校生の美術1
		単位数	2	副教材	なし

学習目標	美術 I では、小学校の図画工作、中学校の美術で学んだ知識や経験をもとに、より高いレベルで美術の表現や鑑賞の活動に取り組み、その喜びを味わいながら、美術のよさや美しさ、芸術の意味や価値について知えます。絵画・彫刻やデザイン、映像メディアなどの表現、日本や世界各国の美術作品鑑賞や生徒作品の相互鑑賞など、美術の幅広い活動を通して、美的体験を豊かにし、感性を高めるとともに、美術表現の成り立ちを理解し、よりよい表現をめざして発想・構想の能力や表現技能を身に付け、高めていくことを目標にしています。		
	学習方法	この授業は、表現・鑑賞のいずれの場合でも、皆さん自身が行う活動を中心に進めていきますので、授業時毎に示す学習のめあてを手がかりに、積極的に活動に取り組みましょう。活動の成果は作品や課題レポートに表れますが、結果だけを重視するのではなく、表現や鑑賞の過程での振り返りを大切にし、「何を、どのように表したかったか」「作品にどんな印象を持ったか」など、自分なりの思いや考えをもって活動に臨んでください。この授業で扱う題材は、1年間に行う他の題材と関連づけて構成されていますので、関連の意味を理解し、前の学習成果を生かし、また後の学習に生かすことを心がけて学習に取り組んでください。	
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
	a	美術への関心・意欲・態度	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから表現することに関心を持ち、主体的に主題を生成し、形体、色彩、構成などを創意工夫して構想を練ろうとしている。
	b	発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。対象や自己の内面を見つめて感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成している。
	c	創造的な技能	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。技法や材料、用具の特性を理解し、目的や意図に応じて、特性や効果を生かして表現している。
	d	鑑賞の能力	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。美術の多様な表現に関心をもち、主体的に作品のよさや美しさを感じ取り、自然と美術の関わりや生活や社会を心豊かにする美術の働き、美術文化などについての理解を深めようとしている。

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
1 学期	デッサン基礎	12	素描基礎	手のデッサン		○	○		形が正確に表現されている。	提出作品 授業観察 鑑賞レポート 振り返りシート
				幾何形体のデッサン		○	○		明暗や調子が自然に表現されている。	
				鑑賞	○			○	形の美しさや多様な表現を味わえたか。	
		12	石膏デッサン初級	構図について		○	○		構図が正しく表現されている。	
				形態について		○	○		形が正確に表現されている。	
				調子について		○	○		明暗や調子が自然に表現されている。	
2 学期	油彩画	6	花デッサン	構図について		○	○		構図が正しく表現されている。	提出作品 授業観察 鑑賞レポート 振り返りシート
				形態について		○	○		形が正確に表現されている。	
				調子について		○	○		明暗や調子が自然に表現されている。	
		22	油彩画(花)	油彩絵具について		○	○		絵の具の特性を理解できている。	
				技法について		○	○		色の重ねや絵の具とオイルの関係。	
				鑑賞(発表)	○			○	表現の意図や工夫を他者に伝えられたか。 書画カメラ・液晶プロジェクター	
3 学期	遠近法	16	透視図法	作図方法について		○	○		水平線と消失点の関係を理解できたか。	提出作品 授業観察 鑑賞レポート 振り返りシート
				空間について		○	○		作図が正しく描けているか	
		2	鑑賞	発表作品について	○			○	表現の意図や工夫を他者に伝えられたか。	
				エコールドバリについて	○			○	鑑賞プリントができているか。	
合計時数(50分授業)		70								